

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団

事業報告（重点目標）の評価について

達成度（状況）	達成率	評価説明
達成できた	90～100%	取り組み内容や達成に至った経緯、成果を記載
概ね達成できた	70～89%	取り組み内容と達成に至らなかった課題等を記載
達成できなかった	0～69%	取り組み内容と達成に至らなかった理由を記載 (外的要因含む)

令和4年度 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団 事業報告

はじめに

平素より当事業団の運営につきましては、利用者の皆さまや保護者の皆さまをはじめ、関係各所の皆さま方には格別のご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

令和4年度は、茅ヶ崎市社会福祉事業団が設立され30年の節目の年でありました。

茅ヶ崎市（以下「市」という。）が事業主体となる社会福祉事業を市に代わって実施するとともに、市と連携して地域の福祉事業を推進することを目的として、平成5年3月に「茅ヶ崎市社会福祉事業団（以下「事業団」という。）」は設置されました。

同時に「ふれあい活動ホーム赤羽根」が新たに設置され、市直営の「つつじ学園」、発足時当時は福祉3団体が運営していた「ふれあい活動ホームあかしあ」や「第2あかしあ」の統合により、市の社会福祉事業の推進を図ってきました。

その後、社会経済情勢の変化とともに、社会福祉に関する制度は幾度となく、めまぐるしい変化の一途を辿ってきました。事業団でも市の外郭団体としての責務を全うするため、市事業の施設運営だけに留まらず、自主自律を目指し、市域の社会的ニーズに応える形で障害者グループホーム「あっとほーむ小和田」、障害児者相談事業所「つみき」並びに就労支援事業所「ぐっじょぶ矢畑の」を法人独自事業として立ち上げ、地域の社会資源の充実に貢献してきました。

近年は市が策定した「外郭団体見直し基本方針」に基づき、自立に向けた取り組みを実施しつつ、事業団が将来に亘って存続し、良質な福祉サービスを継続的に市民に提供していくことを目標に市と協議検討を重ねているところであり、各事業において一定の方向性が見出せた一年でもありました。

利用児者の支援にあたっては、令和4年4月に「虐待防止のための指針」、「身体的拘束等適正化のための指針」が義務化となり、より一層、職員の適正な理解に基づく支援が必要となっています。日頃から利用児者やご家族、職員間のコミュニケーションを大切にしながら業務に従事していただいている職員の皆様のご尽力により、当事業団では虐待等にあたる事案は出ていないことに安堵しておりますが、連日の報道により痛ましい事故や事件が絶えない状況に、職員が一定の「余裕」をもって支援にあたる職場環境の整備が急務ではないかと思う所存でございます。

今後も当事業団の福祉サービスを利用される皆さまの「安全・安心」を第一に、引き続き福祉サービスの事業継続とサービスの充実に向けた事業所の整備、人材の確保及び職員の雇用継続を推進してまいります。

令和5年4月

理事長 川 戸 茂

本部事務局事業報告

1 事業の概要

(1) 経営理念

私たちは、きわめて公益性の高い社会福祉法人として、誰もが人として尊ばれ、愛する地域で自分らしく生活できる社会づくりに貢献します。

(2) 経営方針

ア 一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

イ 信頼される社会福祉法人として、茅ヶ崎市との連携を下に地域課題の解決に取り組みます。

ウ より質の高いサービスを提供できるよう、職員の資質を向上させ、組織体制を強化します。

エ 事業の継続的な改善・見直しを実施し、活力ある法人経営と効率的な事業経営により、経営基盤を強化します。

オ 関係法令や社会規範の理解・遵守を徹底するとともに、個人情報保護と透明性の高い法人経営を推進し、利用者・地域社会の信頼に応えます。

2 管理・運営

(1) 理事会の開催状況

ア 令和4年度第1回(6月通常)理事会

(ア) 日時 令和4年6月1日(水) 午後3時55分から午後5時00分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑2階

(ウ) 審議案

報告第1号 令和3年度第6回理事会(3月決議の省略)について

報告第2号 中期経営改善計画の取組・検討状況について

報告第3号 理事長専決処分の報告について

議案第1号 令和3年度事業報告について

議案第2号 令和3年度会計決算について

議案第3号 評議員選任候補者の推薦について

議案第4号 評議員選任・解任委員会の招集について

議案第5号 令和4年度第1回定時評議員会の招集について

以上報告3件、議案5件は審議の結果、異議なく承認された。

イ 令和4年度第2回(臨時)理事会

(ア) 日時 令和4年11月18日(金) 午後3時55分から午後5時15分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑2階

(ウ) 審議案

報告第1号 評議員選任・解任委員会の報告について

報告第2号 理事長専決処分の報告について

報告第3号 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について

議案第1号 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団規程について

議案第2号 令和4年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第一次補正予算について

議案第3号 決議の省略による評議員会の開催について

以上報告3件、議案3件は審議の結果、異議なく承認された。

ウ 令和4年度第3回(3月通常)理事会

(ア) 日時 令和5年3月16日(木) 午後3時55分から午後5時10分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑2階

(ウ) 審議案

報告第1号 理事長専決処分の報告について

報告第2号 指導監査の結果について

報告第3号 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について

議案第1号 令和4年度第二次補正予算について

議案第2号 令和5年度事業計画について

議案第3号 令和5年度予算について

議案第4号 規程について

議案第5号 評議員選任候補者の推薦について

議案第6号 評議員選任・解任委員会の招集について

議案第7号 令和4年度第3回(3月)評議員会の招集について

以上報告3件、議案7件は審議の結果、異議なく承認された。

なお、議案第2号及び議案第3号は、定款第35条第1項の定めによる、理事総数の3分の2以上の同意が得られた。

(2) 評議員会の開催状況

ア 令和4年度第1回(定時)評議員会

(ア) 日時 令和4年6月23日(水) 午後4時00分から午後5時00分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑1階

(ウ) 審議案

報告第1号 中期経営改善計画の取組・検討状況について

報告第2号 令和3年度事業報告について

議案第1号 令和3年度会計決算について

議案第2号 社会福祉充実計画について

以上報告2件、議案2件は審議の結果、異議なく承認された。

イ 令和4年度第2回評議員会(評議員会の決議の省略)

(ア) 決議があったものとみなされた日 令和4年11月30日(水)

(イ) 審議案

議案第1号 令和4年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第一次補正予算について

以上議案1件は評議員全員から書面による同意の意思表示を得たことから、評議員会の決議があったものとみなされた。

ウ 令和4年度第3回(3月通常)評議員会

(ア) 日時 令和5年3月24日(金) 午後4時00分から午後4時40分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑1階

(ウ) 審議案

報告第1号 令和4年度第2回評議員会(11月決議の省略)について

議案第1号 令和4年度第二次補正予算について

議案第2号 令和5年度事業計画について

議案第3号 令和5年度予算について

以上報告1件、議案3件は審議の結果、異議なく承認された。

(3) 事業種別

ア 指定管理者事業

名 称	事 業 種 別 (定員)	指定管理期間
つつじ学園	児童発達支援センター (30) 児童発達支援 (10) 保育所等訪問支援	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日
ふれあい活動ホーム赤羽根	就労移行支援 (6) 就労継続支援B型 (23)	
ふれあい活動ホームあかしあ	生活介護 (20)	
ふれあい活動ホーム第2あかしあ	就労継続支援B型 (25)	
かめっこくらぶ(東海岸・松が丘)	障害児日中一時支援 (10・10)	

イ 自主事業

名 称	事 業 種 別 (定員)	指定日
あっとほーむ小和田 (松が丘) (高田)	(5・サテイト1+1) 共同生活援助(5・サテイト1+1) (6)	平成24年7月1日指定 *松が丘 平成26年1月5日開所 *高田 令和2年2月1日開所
相談支援センターつみき	障害児相談支援 特定相談支援	平成24年10月1日指定
ぐっじょふ矢畑	就労継続支援B型 (20)	平成29年4月1日指定

ウ 委託事業

名 称	事 業 種 別	指定日
相談支援センターつみき	茅ヶ崎市相談事業	平成24年10月1日指定

(4) 茅ヶ崎市との協定書等について

締結日	名称
令和4年4月1日	茅ヶ崎市障害児通所施設の管理運営に関する年度協定書
令和4年4月1日	茅ヶ崎市障害者ふれあい活動ホームの管理運営に関する年度協定書
令和4年4月1日	委託業務契約書(相談支援センターつみき)

(5) 職員配置

令和5年3月配置数

	員数計	職種	正規職員		非正規職員			
			員数	員数	常勤換算			
法人本部事務局	2		1	1				
本部事務局		副理事長(業務執行理事)		1	0.77			
		事務局長		(1)				
		副事務局長	1					
		事務員	(1)					
児童								
つつじ学園	45		13	32				
児童発達支援センター		管理者	1					
		児童発達支援管理責任者	1					
		保育士・児童指導員又は障害福祉サービス経験者	6	10	8.11			
		運転員		3	1.39			
保育所等訪問支援		指導員(添乗業務含む)		1	0.45			
		管理者	(1)					
		児童発達支援管理責任者	(1)					
児童発達支援		訪問支援員	(1)					
		管理者	(1)					
児童発達支援		副施設長(児童発達支援管理責任者)	1					
		保育士・児童指導員又は障害福祉サービス経験者	3	2	2.00			
		管理栄養士	1					
		調理員		3	1.29			
共通		事務員	(1)	1	0.46			
		看護師		3	1.06			
		嚥下医(小児科)		1	0.01			
		嚥下医(精神科)		1	0.01			
		理学療法士		1	0.50			
		言語聴覚士		2	0.85			
		公認心理師		2	1.35			
		臨床心理士		1				
		作業療法士		1	0.74			
		かめっこくらぶ	9		1	8		
		日中一時支援		管理者	1			
				保育士・児童指導員・指導員		8(1)	3.58	
運転員				1	0.52			
就労・生活								
ふれあい活動センター赤羽根	9		3	6				
就労移行支援 就労継続支援B型		管理者	1					
		施設長	(1)					
		サービス管理責任者	(1)					
		施設長補佐(就労支援員)	1					
		生活支援員	1					
		職業指導員		6	4.50			
ふれあい活動センターあかしあ	11		2	9				
生活介護		管理者	1					
		施設長	(1)					
		サービス管理責任者	(1)					
		生活支援員	1	8	3.77			
		嚥下医		1	0.01			
看護師		(1)						
ふれあい活動センター第2あかしあ	7		2	5				
就労継続支援B型		管理者	1					
		施設長	(1)					
		サービス管理責任者	(1)					
		職業指導員	1	5	3.55			
くまのぼろ	4		2	2				
就労継続支援B型		管理者	(1)					
		施設長	(1)					
		サービス管理責任者	1					
		職業指導員	1	2	1.62			
あまのぼろ	16		1	15				
松が丘・高田・サライト1・2 共同生活援助		管理者	(1)					
		施設長	(1)					
		サービス管理責任者	(1)					
		生活支援員	1	1	0.39			
		世話人		16(2)	4.06			
相談								
相談支援センター	3		1	2				
障害児・特定相談支援 一般相談支援		管理者	1					
		相談支援員	(1)	2	1.31			
計	106		26	80				

() は他職種または他事業所との兼務
 なお、正規職員は任期付きを含むが育休代替職員の数は除く

(6) 研修、会議等

外部研修	主催	日数	延人数	備考
(社福)新任役員・職員セミナー	公益財団法人公益法人協会	1	1	
4大ハラスメント対策セミナー	東京海上日動火災保険	1	1	オンライン
令和4年度社会福祉法人会計担当者研修	(福)神奈川県社会福祉協議会	1	1	動画配信
改正育児・介護休業法説明会	神奈川県労働局	1	2	オンライン
社福経営の成功事例の検証 中長期計画/生産性向上/人材定着の三位一体とは	福祉経営研究機構	1	1	動画配信
社会福祉法人の経営力強化 進化する経営トレンドを読み解く	福祉経営研究機構	1	2	動画配信
電帳法対応で取り組むDX 業務改善セミナー	キャノンマーケティングジャパン	1	1	オンライン
インボイス制度及び電子帳簿保存法 施行への対応	ヤマダデンキ	1	1	オンライン
コンプライアンス実践講座(管理者編)	(福) 福利厚生センター	-	1	e-ラーニング
計		8	11	

外部会議等	主催	日数	延人数	備考
県内事業団総務担当課長会議	横浜市リハビリテーション事業団	1	1	オンライン
茅ヶ崎市行政改革推進委員会	茅ヶ崎市	1	2	
茅ヶ崎市との打ち合わせ	-	3	9	
指定管理施設モニタリング	茅ヶ崎市	4	-	
合同企業説明会	茅ヶ崎市	1	2	
産業医設置に関する打合せ		2	2	
計		12	16	

内部会議	回数	内容	備考
経営会議 (兼計画推進委員会)	2	事業団における管理運営に関する重要事項の審議、中期経営改善計画に掲げた事項の検討と調整。 主な議題：今後10年間の収支予測を踏まえた事業運営、人材育成、人事配置計画、人事評価制度、産業医設置についてなど	
施設長会議 (全体会)	1	事業運営における調整、人材育成、新たな取り組みや行事等の協議と共有化。	
施設長会議 (成人分科会)	3	主な議題：収支状況の確認、中期経営改善計画と重点目標の進捗確認、職員研修についてなど	
施設長会議 (児童分科会)	3		
広報委員会	適時	本部事務局の所掌事務として、法人の広報活動全般において、ホームページや掲示板などを活用し事業所の運営情報等を発信するほか、法人経営の透明化を図る。	
防災委員会	1	つつじ学園防災グループが中心となり、福祉避難所の備蓄品検討並びに福祉避難所設置訓練を実施した。	

権利擁護推進委員会 (虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会)	1	虐待防止委員会を開催し、虐待防止の啓発、及び職員研修の実施や職員が余裕をもって支援にあたるよう代表施設長へ指導を行った。 身体拘束適正化検討委員会及び自己点検シートは各事業所で実施した。
成人事業検討委員会	4	中期経営改善計画アクションプランに位置付けられる「自主事業の新たな事業展開」の実行部隊として、成人事業所全体で検討していくため委員会に位置付けた。 既存事業の課題を解決しつつ、安定した経営を維持しながら利用者や地域ニーズに応じていくには何が必要かを検討した。
計	15	

*その他、人事評価制度の導入に向けて、職員向けの説明会を行った。

(7) 職員の職場環境

ア 健康管理

インフルエンザ 予防接種助成金	人数	助成金額
	28	55,200

短時間勤務者を含め定期健康診断を実施し、職務免除にて対応した。

イ 資格取得支援

資格名	人数	備考
公認心理師/助成金	1	非常勤職員
子ども発達障がい支援アドバイザー/助成金・報奨金	1	常勤嘱託職員

(8) その他人事・労務

実施日	業務内容
4月1日	辞令交付 人事配置（採用4名、昇格3名、昇任1名） 契約職員発令（継続2名、新規1名） 常勤嘱託職員発令（継続4名）
4月1日	部分休業（継続2名）
4月1日	育児休業承認（1名） /9月30日までの予定
6月1日	育児休業復帰（1名）
6月1日	部分休業承認（1名）
6月28日	契約職員採用試験結果
6月29日	育児休業承認（契約1名） /3月31日までの予定

7月2日	特別休暇（産前産後休暇）承認（1名） /10月21日までの予定
9月20日	契約職員採用決定（1名）
10月5日～ 10月14日	特別休暇（私傷病）承認（1名）
10月8日	育児休業承認（1名） /令和6年5月14日までの予定
10月11日	育児休業承認（1名） /11月11日までの予定
10月26日～ 11月11日	特別休暇（私傷病）承認（非常勤1名）
11月8日～ 12月8日	特別休暇（私傷病）承認（1名）
1月4日	辞令交付 人事配置（契約職員1名）
2月27日	契約職員採用決定（1名）
3月1日	人事異動（内示）
3月28日	特別休暇（産前産後休暇）承認（非常勤1名） /7月3日までの予定

なお、育児休業の取得対象者には事前面談において意向確認を行った。

3 令和4年度の重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	法人ホームページについて、「分かりやすさと伝わりやすさ」をポイントに掲載記事を見直し、法人や事業所の魅力が十分に伝わるツールとしてリニューアルを行う。	概ね達成できた 掲載記事の見直しを適宜行うとともに、定期的なブログ掲載以外にも事業所活動を臨時記事として積極的に発信することで事業理解を促進した。 当初、ホームページ全般にわたるリニューアルを想定していたが、電子帳簿保存法施行に伴う準備を進める中で、各施設における通信環境が複雑化していることが判明した。関連のあるセキュリティ対策の強化は今年度中に実施したが、そのほかの見直しを行うにも基本となるネットワーク環境の再構築が必要なため、次年度に進めていくこととした。
(2)	情報伝達と情報共有のしやすさを目的に、児童分野の業務について現場のワークフローを確認しつつICT活用による業務効率化を推進する。	概ね達成できた 端末不足により業務遂行に支障が出ていたが、環境整備により業務の効率化を図った。 ソフトウェア等を利用したICT活用については、つつじ学園で調査した業者や他法人の現状把握に留まり、通信環境の整備を含め継続して検討を行うこととなった。

つつじ学園事業報告

(児童発達支援センター・児童発達支援・保育所等訪問支援)

1 基本方針

児童福祉法の理念に基づき、子どもたち一人ひとりを尊重し、愛する地域で自分らしく生活できるように、子どものニーズに寄り添った支援を行い、早期療育の定着を図ることにより、基本的な生活能力を高め、情緒豊かな人間性を養う。

(1)児童発達支援センター(単独通園、週5日)*通園バスあり

保護者から離れて療育を積み重ねていく中で、今までにない人間関係が芽生え、様々な活動を経験することで、社会参加に向かう力を養う。また、保護者は子どもと離れ、客観的に子どもを見つめる時間を過ごし、自身の生活を考え、もう一度子どもとの関わりを捉え直す機会を持つ。

肢体不自由児、医療的ケア児を受け入れる体制を整え、子どもの特性に合った環境で支援を行う。

(2)児童発達支援事業(親子通園、週2~3日)

心身の発達に遅れやつまづきがある子どもたちが、保護者と共に友達や職員とさまざまな遊びや活動に取り組み、経験を積み重ねていく。また、身の回りのことを自分でできるように支援する。保護者は、子どもと一緒に療育に参加し、支援の在り方について職員と考え合う。また、保護者同士で交流を深めながら、共に考え、助け合う場となるよう保護者を支援する。

(3)保育所等訪問支援事業

保育園等に在籍している学園児、退園児を対象に、公認心理師、訪問支援員が保育所等を訪問し集団生活の適応支援を行う。また、子どもへの直接支援や発達の様子を踏まえた関わり方や提示方法について、訪問先保育所等のスタッフに対する支援方法等のアドバイスとともに、ご家族に訪問先での様子の報告等を行う。

2 令和4年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	<p>利用児保護者との支援計画に際する面談で、意思決定支援（利用児の保護者）をベースに、本児の特性に合わせた個別的な支援計画を作成する。支援計画については、職員の経験や資質の差異が生まれぬよう、また、利用者誰もが個々の特性に合った支援を受けられるよう、児童発達支援ガイドライン等に基づき、文章や文言の整理を職員研究会（月1～2回実施：職員研修計画表に記載）で行い、児それぞれの特性に合わせた内容をその表から選択できるようにする。令和4年度3月末日までに新支援計画表を作成し、令和5年度4月より施行する。</p>	<p>概ね達成できた。</p> <p>新支援計画書は、知的障害児用と肢体不自由児用で構成されている。</p> <p>両計画について、毎月1回程度正規職員で検討を重ね、計画（案）の策定に取り組んだ。</p> <p>その結果、知的障害児用計画書は完成し、令和5年4月からの運用開始となった。</p> <p>一方で、肢体不自由児用計画書については、計画全体の骨子の取りまとめは完了した。</p> <p>実施にあたっては、細部に関して運用しながら調整することが必要となり、令和5年度は運用しながら検討を継続することとなった。</p>
(2) ア	<p>採用から3年目までのクラス担任となる職員については、障害特性とその関わりについての研修を年5回、当園の公認心理師を講師とした研修を実施する。</p>	<p>概ね達成できた。</p> <p>研修・講義としては全3回の実施となったが、不足分については、各クラスや職員との個別的な打ち合わせを設定した。研修ではグループディスカッションを通して、職員から上がった課題等に対して公認心理師が答える形で進められ、日々の療育支援に生かせる内容となり有意義な研修となった。</p>
(2) イ	<p>すべての職員については、当園の専門指導職員（心理、ST、OT、PT）を講師とした障害特性についての研修をそれぞれ年1回ずつ実施する。その他、活動展開の在り方や模擬療育など、すぐにクラス運営や支援に行かせる研修を実施し、併せて月2回程度の研修を実施する。</p>	<p>概ね達成できた。</p> <p>専門指導職員の諸事情により、心理、OT、PTの研修は実施できなかったが、STと精神科嘱託医の研修は実施ができ、それぞれ事前の職員アンケートに基づき研修の内容を決定したため、実態に即した有意義なものとなった。職員同士の内部研修では段階の違うクラス担任が同じグループで意見交換をすることで、共通認識が持てたり、つつじ学園全体の方向性や特色等を見出すことができた。</p>

3 利用者の状況

(1) 利用状況（代替支援を含む。）

		月													前年度					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	延時間所	総数	計	延時間所	総数	
センター	実在籍(契約)数	30	31	31	31	31	30	30	30	30	29	29	29							
	開所日数	17	19	22	20	17	20	20	20	19	18	19	19	230		230	229		229	
	延在籍数	500	589	682	620	496	600	600	600	570	522	551	521	6,851			8,206			
	延利用数	430	468	596	420	379	479	500	492	478	409	433	432	5,516		5,516	6,532		6,532	
	分析	一日平均	25.3	24.6	27.1	21.0	22.3	24.0	25.0	24.6	25.2	22.7	22.8	22.7	24.0			28.5		
		出席率	86.0%	79.5%	87.4%	67.7%	76.4%	79.8%	83.3%	82.0%	83.9%	78.4%	78.6%	82.9%	80.5%			79.6%		
訪問	実在籍(契約)数	3	3	3	8	11	12	13	14	13	13	13	13							
	延利用数	0	0	2	1	1	6	2	2	1	3	2	2	22		22	9		9	
事業	実在籍(契約)数	27	27	26	27	27	27	27	27	27	27	27	27							
	開所日数	17	19	22	21	17	20	20	20	20	18	19	19	232		232	229		229	
	延在籍数	202	236	261	245	203	245	247	259	239	219	230	225	2,811			2,483			
	延利用数	163	186	184	182	146	188	181	192	181	170	169	180	2,122		2,122	1,916		1,916	
	分析	一日平均	9.6	9.8	8.4	8.7	8.6	9.4	9.1	9.6	9.1	9.4	8.9	9.5	9.1			8.4		
		出席率	80.7%	78.8%	70.5%	74.3%	71.9%	76.7%	73.3%	74.1%	75.7%	77.6%	73.5%	80.0%	75.5%			77.2%		

上記の数値は代替支援数を含むため、便宜上出席停止数のみを除算し、休園やクラス閉鎖の対象となる日数や人数は算入している。

なお、コロナ不安による登園自粛数（上記外）は、センター35件、事業6件であった。

ア 児童発達支援センター

週5日の単独通園を通じて、保護者から離れて身辺面や社会性、コミュニケーションの発達を促すことを目的に継続的な取り組みを行った。行動のコントロールが難しい子や未歩行または姿勢運動に介助が必要な子どもについては、個別に職員が対応し、子どもの様子や発達段階に合わせた支援を行った。医療的ケアが必要な子どもには看護師が必要に応じて付き添い、クラス職員と連携し安心安全に過ごせるよう支援を行った。子どもの様子や関わり方については、日々の連絡や面談を通して保護者と共有した。また、専門指導を必要とする子どもを対象に、ニーズに合わせて専門職種の利用を積極的に実施した。

なお、新型コロナ感染防止対策の緩和により、3年ぶりに学園祭を開催したほか、徐々にクラス合同での活動等も開始することができた。

イ 児童発達支援事業

親子通園の子どもを中心に発達段階や特性に合わせたクラスを編成し、年少前を含めた早期から週2日～3日の療育を積み重ねるように実施することで、保護者支援、子どもの生活リズムの確立、日常の生活動作の向上、情緒面の安定を図った。

また、各クラスのカリキュラムに、理学療法士、作業療法士、公認心理師、言語聴覚士が参加し、子どもへの直接支援や療育スタッフへの後方支援等を取り入れた。

ウ 保育所等訪問支援

つつじ学園在園児を対象に、保育所等における集団適応支援、後方支援、情報の共有を目的に実施した。訪問後は、方針会議を開き、大きな集団での「過ごし」について、保育所等、保護者、保育所等訪問支援員、公認心理師、担当職員間で課題を共有し連携を図ることで子どもの特性理解につながり、特性に合った支援や関わりが子どもに提供されたことで、集団生活への適応につながった。

(2) 年齢・性別

	児童発達支援センター			児童発達支援事業			合計
	男	女	計	男	女	計	
2歳児	0	0	0	1	0	1	1
3歳児	0	0	0	14	5	19	19
4歳児	7	5	12	5	1	6	18
5歳児	12	5	17	1	0	1	18
計	19	10	29	21	6	27	56

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
センター	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7	2	13
事業	1	0	0	0	0	0	1	0	3	4	2	9
計	1	0	0	0	0	0	1	0	7	11	4	22

	重複							小計	未交付	合計
	身1級 A1	身1級 A2	身1級 B2	身2級 A1	身2級 A2	身3級 A2	身3級 B2			
センター	1	0	0	1	0	0	1	3	13	29
事業	1	0	0	0	0	0	0	1	16	27
計	2	0	0	1	0	0	1	4	29	56

*未交付の中には療育手帳を取得したくても、発達数値が該当しないケースあり。

(4) 診断名

	ダウン症 等症候群	自閉症 スペクト ラム	その他	診断名 なし	計
センター	3	4	7	15	29
事業	1	5	9	12	27
計	4	9	16	27	56

(5) 入園経路

	こども センター	総合療 育相談 センター	幼稚園 保育園	他施設	学園内 発達支 援事業	転居	行政 (保健所 等)	児相	家庭	相談事 業所	計
センター	0	0	0	0	19	1	0	0	0	1	21
事業	16	5	0	0		1	0	0	0	0	22
計	16	5	0	0	19	2	0	0	0	1	43

(6) 退園経路

	学校				幼稚園 保育園	他施設	学園内 発達支 援センター	転居	家庭	計
	支援 学校	支援 学級	通常 学級	小計						
センター	4	11	2	17	2	0		1	0	20
事業	1	0	0	1	0	2	18	0	0	21
計	5	11	2	18	2	2	18	1	0	41

4 支援内容

(1) 日課表

時刻	児童発達支援センター	時刻	児童発達支援事業
8:30	全職員打ち合わせ 日課打ち合わせ	8:30	全職員打ち合わせ 日課打ち合わせ
8:40	通園バス出発	8:50	活動準備・記録
9:00	活動準備・記録	9:30	個別指導
9:30	個別指導	10:00	登園 支度・自由遊び
10:00	通園バス到着、登園 支度・自由遊び・排泄	10:20	リズム
10:35	集まり・水分補給	10:30	集まり
10:45	部屋別活動、全体活動		リラックス体操
11:45	給食 着脱・自由遊び	11:10	機能回復訓練等
13:00	課題活動 リラックスタイム	11:20	課題遊び
13:45	集まり・降園準備	11:45	給食
14:00	通園バス出発、降園 清掃	12:30	排泄・自由遊び
15:30	通園バス到着 記録等	12:50	集まり・降園準備
16:20	担当打ち合わせ	13:00	降園（親子グループ） 個別指導
17:15	職員退勤	15:00	面談 清掃
		17:15	担当打ち合わせ 記録等 職員退勤

(2) 専門職による指導訓練

区分	日数	延人数
理学療法士(PT)	107	174
作業療法士(OT)	99	115
言語聴覚士(ST)	37	36
言語聴覚士(ST)	35	32
言語聴覚士(ST)	41	33
公認心理師	77	95
公認心理師	96	97
計	492	582

個別指導だけではなく、集団活動の様子を観察していただく時間を設定することで、集団での課題等を共有していくことができた。

子どもの指導だけではなく、保護者支援が必要なケースは専門職員と面談する時間を多く取り入れ、

フォローを行った。

指導職員の知識等向上のため、専門職員による研修、勉強会を実施した。

(3) 嘱託医師による検診

区分	日数	集団検診延人数			個別検診延人数		
		センター	事業	計	センター	事業	計
精神科	23			0	28	14	42
小児科	20	58	31	89	3	4	7

精神科の個別健診において、事業は新入園児を対象とし、小児科の個別検診はセンターと事業ともに新入園児を対象に実施した。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
安全運転管理者法定講習	一般社団法人神奈川県安全運転管理者会連合会	1	1	
発達障がい専門相談員ステップアップ研修 基礎研修	茅ヶ崎市障がい福祉課	1	1	
令和4年度特定給食施設全体講習会	茅ヶ崎市保健所	1	1	
インクルーシブ教育研究会	茅ヶ崎市学校教育指導課	1	1	
障害者虐待の防止と対応の実際について	茅ヶ崎市障害福祉課	1	1	
心身障害児保育研究会	神奈川県内心身障害児保育研究会	1	1	
神奈川県発達障害支援センター公開講座	神奈川県発達障害支援センター	1	1	
神奈川県意思決定ガイドライン研修	NPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	1	1	
神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 更新研修	NPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	1	1	
神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 基礎研修	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会	1	1	
神奈川県相談支援従事者現任研修	NPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	4	4	内1日はオンライン研修
自閉傾向にある児童への適切な支援と教育・福祉の連携について	三浦しらとり園地域支援課	1	1	オンライン研修
医療的ケア児等コーディネーター養成研修	神奈川県立こども医療センター	4	4	内2日はオンライン研修
新人指導力強化研修	神奈川県社会福祉協議会	1	1	
神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 補足研修	NPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	2	2	オンライン研修

対人援助研修	神奈川県社会福祉協議会	2	2	内1日はオンライン研修
ファシリテーション研修	神奈川県社会福祉協議会	2	2	
意思決定支援について	障がい福祉課	1	1	
送迎用車両における安全管理研修	神奈川県障害サービス課	1	1	オンライン研修
計		28	28	

内部研修	日数	延人数
自己点検シート振り返り（9月・3月）	2	52
発達段階に合わせた活動の選び方、展開を学ぶ	2	57
防犯研修（療育中の不審者対応について）	1	23
全体ケース検討会	1	20
本の読み合わせ（3年目までの職員対象）	3	23
ST研修（発音・吃音について、言語評価について）	1	18
「睡眠・食事・告知と受容」について	1	25
「てんかん」について	1	25
嘔吐物の処理について	1	18
職員の共通理解について	1	25
パワーハラスメント研修	1	25
虐待防止及び身体拘束について （虐待防止検討会議/身体拘束適正化検討委員会）	1	21
計	16	332

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数	備考
特別支援教育担当者会兼教育センター青少年教育相談事業等説明会	学校教育指導課	1	1	
茅ヶ崎市障害者施設連絡会総会	茅ヶ崎市施設連絡会	1	1	
県内公立障害者通園施設連絡協議会	県内公立障害児通園施設連絡協議会	5	5	
ケース会議	つつじ学園	1	5	
計		8	12	

内部会議	日数	延人数
アセスメントシート、支援計画書の見直し	15	102
職員会議	13	287
計	28	389

6 その他

(1) 給食

区分	提供数		栄養相談	
	年間	1日あたり	日数	延人数
センター	4,883	26.7	0	0
事業	1,316	8.8	5	5

	目標	提供	推定摂取
熱量 (kcal)	420	462	412
蛋白質 (g)	17	21.4	19.1

5月にそらまめのさやむき体験、7月にとうもろこしの皮むき体験を実施した。むいたそらまめやとうもろこしは茹でてその日の給食にて提供した。また、秋にはさつま芋ほり体験をした。収穫したさつま芋は大学芋にして給食にて提供するとともに、家庭に持ち帰っていただき、家庭の味も楽しんでいただいた。七草ごはんやちらし寿司など季節ごとに行事食を取り入れたが、苦手な児童には白米を別に用意する等の配慮を行った。

(2) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	園児	職員	その他	計	場所	想定
4月19日	29	22	13	64	1階調理室	火災避難訓練
5月18日	36	26	11	73	1階調理室	火災避難訓練
6月9日	38	24	11	73	1階調理室	地震火災避難訓練
7月22日	0	0	0	0	1階調理室	職員コロナ陽性のため中止
8月5日	27	21	11	59		地震津波避難訓練
8月9日	28	21	8	57	1階調理室	地震火災避難訓練
9月9日	28	19	13	60	2階配膳室	地震火災避難訓練
9月29日	23	16	23	62		センター引き渡し訓練
10月3日	32	25	9	66	2階いちご部屋	火災避難訓練
11月9日	27	18	9	54	1階調理室	地震火災避難訓練
12月8日	34	24	11	69	1階調理室	火災避難訓練
12月28日	0	20	5	25		福祉避難所設営訓練
1月13日	34	24	10	68	1階調理室	ガス爆発火災避難訓練
2月21日	17	19	8	44	1階調理室	火災避難訓練
3月15日	25	22	8	55	1階調理室	火災避難訓練

(3) 年間行事

実施日		行事内容
4月1～5日		自宅療育日
4月6日		入園式
5月17・18・19・23日		事業部屋別懇談会（ひよこ、ぺんぎんABD）
6月6～10日		事業家族参観週間（ひよこ、ぺんぎんA）
6月11日		事業家族参観日（ひよこ、ぺんぎんA）
6月27・29・30日		センター部屋別懇談会（ぶどう、いちご、ばなな）
7月1日		センター部屋別懇談会（みかん）
7月6～8日		事業家族参観週間（ぺんぎんB・D）
7月9日	土	家族参観日（センター・ぺんぎんB・D）
8月15～19日		自宅療育日
10月17～21日		事業家族参観週間（ひよこ、ぺんぎんA）
10月22日		事業家族参観日（ひよこ、ぺんぎんA）
11月12日		学園祭
11月21・22日		センター部屋別懇談会（いちご、みかん）
11月24～25日		センター部屋別懇談会（ぶどう、ばなな）
11月28日 ～12月2日		事業家族参観週間（ぺんぎんB・D）
12月3日	土	家族参観日（センター・ぺんぎんB・D）
12月19・22・23日		クリスマス会（センター・事業）
12月28日 ～1月4日		自宅療育日及び年末年始休業
1月16～20日		事業部屋別懇談会（ひよこ、ぺんぎんABD）
2月27日 ～3月2日		センター部屋別懇談会
3月27日		卒園式
3月27～31日		自宅療育日

今年度もコロナの影響で大きな行事が実施できなかったが、季節に合わせた制作や活動などで季節の雰囲気味わう等の工夫をした。

運動会については、センターでは運動週間を設けてクラスごとに実施した。

学園祭を3年ぶりに開催し、コロナ禍を考慮して、内部のみで3部制の実施とした。

(4) 保護者懇談会

実施日	参加人数		
	保護者	職員	計
なし			

(5) 保護者研修会

研修会等の内容	講師	延日数	延人数		
			センター	事業	計
なし					

(6) 事業所評価

児童発達支援ガイドラインに基づき、事業所自己評価及び保護者等からの事業所評価を実施し、それぞれの評価は法人ホームページに公表している。なお、センター93.5%（回収率76.7%：配布30件/回収23件）、事業100%（回収率85.2%：配布27件/回収23件）の満足度を得られた。

(7) 車両の運行状況

(通園バス：シビリアン)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	451	640	744	635	580	653	674	662	607	634	655	568	7,503	625.3
運行日数(日)	14	19	22	19	17	20	20	19	18	18	19	17	222	18.5
平均走行距離(km/日)	32.2	33.7	33.8	33.4	34.1	32.7	33.7	34.8	33.7	35.2	34.5	33.4		33.8

(送迎車：セレナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	458	591	656	494	526	598	623	549	546	558	563	514	6,676	556.3
運行日数(日)	15	19	22	19	16	20	19	19	18	18	19	18	222	18.5
平均走行距離(km/日)	30.5	31.1	29.8	26.0	32.9	29.9	32.8	28.9	30.3	31.0	29.6	28.6		30.1

(タント)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離(km)	92	85	124	102	124	250	216	136	176	133	117	197	1,752	146.0
運行日数(日)	13	12	13	11	11	15	17	15	15	13	12	13	160	13.3
平均走行距離(km/日)	7.1	7.1	9.5	9.3	11.3	16.7	12.7	9.1	11.7	10.2	9.8	15.2		11.0

(8) 教育実習生の受け入れ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	0	0	2	0	2	2	0	1	0	0	6	0	13
延べ日数	0	0	23	0	23	24	0	12	0	0	67	0	149

かめっこくらぶ事業報告（日中一時支援）

1 基本方針

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び茅ヶ崎市障害児通所施設条例の定めるところにより、障害児が学校下校後や学校休業期間中に活動する場を提供し、障害児を日常的に介護している家族の一時的な休息及び障害児を持つ保護者の就労支援を行う。

学校や年齢が異なる仲間との交流を通して、子どもたちの社会性や協調性を養う。一人ひとりの子どもの特性やニーズに対応した療育的配慮を行う。

2 令和4年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	職員の補充を行い、週5日、週延べ10名の未就学児を受け入れる。	達成できなかった。 小学校や相談事業所等の関係機関へ利用児募集のチラシ配布や法人ホームページに活動紹介を掲載するなど新たな取り組みを行った。また、つつじ学園との連携強化のため、日中一時支援事業の理解を目的に事業の説明や定期的な会議を持つなど新規契約者の獲得を目指したが、結果、新規の契約者は2名であった。 関係機関との連携強化により、つつじ学園以外の未就学児にも日中一時支援事業の目的である保護者のレスパイトに一定数のニーズがあることが見えてきたため、来年度は柔軟な受け入れを行っていく。
(2)	効率的な運営の観点から1か所での運営について市と協議する。	概ね達成できた。 現在の利用実績や将来的な見込み予測を行い、効率的な運営に関する考え方をまとめ、市と調整を行った。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	前年度
か め っ こ く ら ぶ	共通	実在籍(契約)数	38	38	38	37	36	36	37	37	37	37	37	37				
		実利用者数	26	26	27	26	22	24	27	27	26	27	27	28	313			376
		開所日数	20	19	22	20	17	20	20	20	20	19	19	22	238	0	238	238
東		延利用数	123	109	128	98	85	111	102	98	103	84	93	100	1,234	0	1,234	998
	分析	一日平均	6.2	5.7	5.8	4.9	5.0	5.6	5.1	4.9	5.2	4.4	4.9	4.5	5.2			4.2
松		延利用数	30	32	38	36	22	34	36	45	39	37	40	41	430	0	430	1056
	分析	一日平均	1.5	1.7	1.7	1.8	1.3	1.7	1.8	2.3	2.0	1.9	2.1	1.9	1.8			4.4
計		延利用数	153	141	166	134	107	145	138	143	142	121	133	141	1,664	0	1,664	2,054
	分析	一日平均	7.7	7.4	7.5	6.7	6.3	7.3	6.9	7.2	7.1	6.4	7.0	6.4	7.0			8.6

利用者の状況について、重度加算者が3名、行動加算者が13名の実利用者があり、延べ利用数の1,664人に対し48.8%にあたる813人の利用となっている。また、加算の対象ではないが、機能的に個別的支援が特に必要な利用者が1名おり、個別的な支援が必要な利用者は、定期的な利用者全体の約4割となって

いる。

一日の平均利用人数は昨年度の8.6名に対し7.0名と減少した。年度内の退所理由としては、中学進学9件、放課後等デイサービスへの利用移行1件、市外への転居1件、日中一時支援を利用しない1件の計12件となり、昨年度の件数とほぼ変わりはない。10月と1月にそれぞれ1名の未就学児が利用を開始したが、社会資源が充実されたことによる影響もあり、小学生の新規利用者の獲得には至らなかった。

(2) 障害別利用実人員

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
東 海 岸	知的	18	19	19	18	15	17	18	18	17	18	18	19	214
	肢体	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	小計	20	21	21	20	17	19	20	20	19	20	20	21	238
松 が 丘	知的	6	5	6	6	5	5	7	7	7	7	7	7	75
	肢体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6	5	6	6	5	5	7	7	7	7	7	7	75
合計		26	26	27	26	22	24	27	27	26	27	27	28	313

(3) 年齢・性別

	男	女	計
3歳児(年少)	0	0	0
4歳児(年中)	0	0	0
5歳児(年長)	2	0	2
小学1年生	0	0	0
小学2年生	5	2	7
小学3年生	6	1	7
小学4年生	9	0	9
小学5年生	3	3	6
小学6年生	8	1	9
計	33	7	40

(4) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	0	0	0	0	0	0	0	4	11	12	27

重複			未交付	合計
身1級 A1	身2級 A1	小計		
1	2	3	10	40

4 支援内容

- (1) 安心・安全に利用していただくため、体温、排泄、食事の記録など連絡帳を通じて家庭と一緒に健康管理を行った。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、検温の徹底と消毒、手洗い、車両を含めた設備の消毒等を徹底した。
- (2) 長期休暇時には公園遊びや散歩などを積極的に取り入れ、体力作りを実施した。

- (3) 季節の行事に合わせて、描画や製作を行い、楽しさや面白さを通して考える力や達成感を育んだ。
- (4) 活動にあたっては、写真カードやスケジュールを分かりやすく提示し、誰もが見通しをもって能動的に参加しやすくなるよう支援した。
- (5) 送迎車により、学校から事業所までの迎え、自宅までの送りを行った。
- (6) 県立茅ヶ崎支援学校開放事業

延日数	延人数
中止	

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
ステップアップ研修 基礎研修	茅ヶ崎市障がい福祉課	1	1	オンライン
障害者虐待防止と対応の実際	茅ヶ崎市社会福祉協議会	1	7	オンライン
発達障がいステップアップ研修 初級編	茅ヶ崎市障がい福祉課	1	3	オンライン
相談支援従事者現任研修	神奈川県	4	4	内1日オンライン
計		7	15	

内部研修	日数	延人数
発達障がいに課題がある子の育て方	1	9
自閉症の人の行動上の問題を考える	1	9
計	2	18

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
定例会	茅ヶ崎・寒川障害児者通所事業所連絡会	3	3
ケース会議	市内小学校	4	4
計		7	7

内部会議	日数	延人数
職員会議	10	87

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用児	職員	その他	計	場所	想定
12月26日	3	3	0	6	つつじ学園	福祉避難所への経路確認
12月27日	6	4	0	10	つつじ学園	福祉避難所への経路確認
12月28日	7	4	0	11	つつじ学園	福祉避難所への経路確認
1月5日	3	3	0	6	つつじ学園	福祉避難所への経路確認
1月6日	3	3	0	6	茅ヶ崎小学校	広域避難所への経路確認

(2) 年間行事

実施日	行事内容
4月18日～4月22日	こいのぼり製作
6月14日～6月20日	梅雨（かたつむり製作）
6月28日～7月8日	七夕製作
8月2日～8月8日	暑中見舞い
9月26日～9月30日	お楽しみ会
10月18日～10月21日	ハロウィン製作
12月5日～12月15日	クリスマス製作
12月26日～1月20日	凧製作
1月4日～1月20日	書初め
1月23日～2月2日	節分製作
2月22日～3月1日	ひな祭り製作
3月22日～3月24日	お花見

定期的に季節に応じた製作を行った。頑張っており取り組んでいる様子を写真に撮り各家庭にメール配信した。また、新たに法人のホームページに掲載し、事業所の取り組みを定期的に広く地域へ発信した。

(3) 保護者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、11月に保護者アンケートを実施した。（アンケート回収率 66.7%：配布 27 件/回収 18 件）全体で 87%の満足度が得られた。

(4) 車両の運行状況

(ハイエース)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	541	400	547	446	663	531	638	561	598	402	465	630	6,422	535.2
運行日数 (日)	20	16	21	15	16	20	19	20	20	16	19	22	224	18.7
平均走行 距離(km/日)	27.1	25.0	26.0	29.7	41.4	26.6	33.6	28.1	29.9	25.1	24.5	28.6		28.7

(ステップワゴン)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	366	309	375	472	250	148	17						1,937	161.4
運行日数 (日)	19	19	22	20	12	6	4						102	8.5
平均走行 距離(km/日)	19.3	16.3	17.0	23.6	20.8	24.7	4.3							19.0

ステップワゴンについては、CVTトランスミッションの不具合が複数回にわたり発生するなど使用を継続するには高額な修繕が必要となった。安全性能機能付き車両への買い替えを検討する時期となっていることから、経過年数（約 10 年）を考慮し、令和 5 年 2 月 3 日をもって廃車手続きを行った。

(総走行距離 43,376 km)

(アルト)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	124	120	90	90	66	189	157	214	165	117	165	153	1,650	137.5
運行日数 (日)	13	14	13	10	6	18	20	20	16	15	15	18	178	14.8
平均走行 距離(km/日)	9.5	8.6	6.9	9.0	11.0	10.5	7.9	10.7	10.3	7.8	11.0	8.5		9.3

(N-BOX)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	205	174	304	198	183	422	313	340	416	241	290	367	3,453	287.8
運行日数 (日)	17	16	22	16	16	20	20	20	18	18	19	22	224	18.7
平均走行 距離(km/日)	12.1	10.9	13.8	12.4	11.4	21.1	15.7	17.0	23.1	13.4	15.3	16.7		15.4

(A Zワゴン)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)										179	166	192	537	44.8
運行日数 (日)										12	14	18	44	3.7
平均走行 距離(km/日)										14.9	11.9	10.7		12.2

ステップワゴンの代車として1月よりカーリースした。

(ターセル)

市の借用車両だが、使用年数が20年以上経過しており不具合箇所の部品調達が困難なことにより修繕ができない状況であった。車両運行に伴う安全性が担保できないため年間を通じ稼働しなかった。なお、令和5年度に市へ返却を予定している。

1 基本方針

（就労移行・就労継続B型）

障害のある方が働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

利用者一人ひとりの希望や実態に則した目標を設定し、施設内・外での作業を通じて自立した社会生活と一般就労へ向けての支援を行います。

（就労継続B型）

利用者が地域で経済的にも自立して生活するために、工賃水準の引き上げを目指します。

2 令和4年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	就労移行 年間を通して、1日当たりの利用者数を4.5人とする。	達成できた 茅ヶ崎支援学校や相談支援事業所等と連携を深めた結果、見学が32人、実習が11人、利用が4人、就労アセスメント利用が4人で、1日当たりの利用者数を4.6人確保した。
(2)	就労移行 茅ヶ崎市自立支援協議会の就労支援部会と協力して体験実習を3件以上実施する。	達成できた 就労支援部会が実施した企業向けアンケート結果を基に、障害者雇用に関心のある事業所を訪問し、体験実習の受け入れ可能な事業所を確保した。 実習希望者に対し実習での業務内容を説明、企業の見学と面接を経て、4件の体験実習を実施した。
(3)	就労継続B型 月額平均工賃を20,000円以上とする。	達成できた 月額平均工賃は前年度の20,008円を上回り20,435円となった。 作業収入は前年度に比べ229,650円減少したが、在籍者の減少により月額平均工賃は増加した。

(4) 就労継続B型 昨年度作成した「利用者マニュアル」を基に、利用者の「特徴的な行動」から「障害特性」を理解するための内部研修を年6回行う。		達成できた 虐待防止、発達障害、強度行動障害、意思決定支援をテーマに年6回の内部研修を実施した。虐待に関する報道が多くあり、事例を基に「なぜ虐待が起こるのか」全ての職員が自由に発言することを意識して意見を出しあった。研修の成果として、日々のミーティングの中で利用者の小さな変化を報告しあい、利用者の行動を予測して対応することができている。
(5) 就労継続B型 赤羽根が得意とする除草作業を、新規で5箇所以上確保する。		達成できた 介護の会まつなみから3箇所、下水道河川管理課から17箇所、個人宅から1箇所の除草作業の依頼をいただき、新規で合計21箇所を確保した。利用者の頑張りにより、お客様からも仕上がりにご満足いただいた。

3 利用者の状況

(1) 利用状況(代替支援・施設実習を含む。)

															前年度						
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数	
赤羽根	移行	実在籍(契約)数	4	4	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	236	11	247	235	10	250	
		開所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	20	19	17	19	22	236	11	247	235	10	250
		延在籍数	80	76	107	100	90	100	100	100	98	108	114	132	1,205	40	1,132	438	18	1,320	
		延利用数	77	72	100	93	79	86	94	92	89	87	107	116	1,092	40	1,132	438	18	1,320	
		分析	一日平均	3.9	3.8	4.5	4.7	4.4	4.3	4.7	4.6	4.7	5.1	5.6	5.3	4.6			1.9		
	出席率	96.3%	94.7%	93.5%	93.0%	87.8%	86.0%	94.0%	92.0%	90.8%	81%	94%	88%	90.6%				87.3%			
	継続B型	実在籍(契約)数	32	32	31	31	31	30	30	30	30	30	30	29	29	7,148	19	255	7,212	23	258
		開所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	20	19	17	19	22	236	19	255	235	23	258
		延在籍数	640	608	682	620	529	600	600	600	570	510	551	638	7,148	224	6,586	6,768	237	7,005	
		延利用数	564	535	618	559	494	528	533	522	492	450	493	574	6,362	224	6,586	6,768	237	7,005	
分析		一日平均	28.2	28.2	28.1	28.0	27.4	26.4	26.7	26.1	25.9	26.5	25.9	26.1	27.0			28.8			
出席率	88.1%	88.0%	90.6%	90.2%	93.4%	88.0%	88.8%	87.0%	86.3%	88.2%	89.5%	90.0%	89.0%				93.8%				

上記のほか、茅ヶ崎支援学校の在校生、相談支援事業所等からの紹介で、32名が見学、11名(延べ日数75日)が実習を行い、4名が利用につながった。一般就労者は0名、個人的な事情により3名が退所した。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	9	7	7	1	1	1	1	27
女	1	2	3	1	0	1	0	8
計	10	9	10	2	1	2	1	35

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
就労移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6
就労継続B	4	3	1	0	1	0	9	0	2	12	1	15
計	4	3	1	0	1	0	9	0	2	13	6	21

	精神障害				重複				合計
	1級	2級	3級	小計	身2級	身6級	身4級	小計	
					A1	精3級	B2		
就労移行	0	0	0	0	0	0	0	0	6
就労継続B	0	2	0	2	1	1	1	3	29
計	0	2	0	2	1	1	1	3	35

(4) 障害支援区分

	1	2	3	4	5	6	未取得	計
就労移行	0	1	0	0	0	0	5	6
就労継続B	1	2	1	1	1	0	23	29
計	1	3	1	1	1	0	28	35

(5) 居住地域

	市内	市外	計
就労移行	5	1	6
就労継続B	28	1	29
計	33	2	35

(6) 居住形態

	家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
就労移行	5	1	0	6
就労継続B	22	5	2	29
計	27	6	2	35

(7) 生活支援の概要

利用者支援マニュアルを基に、利用者一人ひとりの得意・不得意、好きな事・嫌いな事などを確認し、利用者にとって働きやすい環境を提供した。

作業内容については、可能な範囲で複数の作業を提示し、利用者にやりたい作業を選んでいただいた。

新型コロナウイルス感染症対策として、検温・手洗いと手指消毒・換気・施設内消毒を徹底して行った。密を避けるため、利用者の朝礼・終礼を中止、昼食は2グループに分け、職員が黙食支援を行った。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労
なし

イ 職場実習

区分	実習者数	就労者数	企業名	業務内容
就労継続B型	1	-	BBQ太朗神奈川湘南店	コンロ洗浄
就労移行	1	-	つつじ学園	食器洗浄
就労継続B型	1	-	神奈川電設(株)	ケーブルセットアップ
就労移行	1	-	寒川町役場	事務補助
計	4	-		

ウ 施設外就労

主な企業名	業務内容	延べ回数	延べ人数
(有)モザミトータルビューティー、茅ヶ崎市など	清掃、除草	238	689

エ 就労支援の概要

茅ヶ崎市自立支援協議会の就労・生活支援部会の体験実習で3件、就労援助センターからの情報提供で寒川町の体験実習に1件と計4件の体験実習を実施することができた。支援機関間での情報共有、チーム支援会議での情報共有など、就労に向けて支援機関との連携は取れている。

今後、求人情報が出てきたときにマッチングできる利用者の育成がカギとなる。そのために、グループワークを行っているが、指導室のエアコン故障などが原因となり年間10回の開催に留まった。それでも回数を積み重ねたことにより、社会性、職業準備性について理解を深め、就労意欲の向上に繋げることができた。コロナ前までとはいかないが、徐々に就労の動きを再開し、利用者に寄り添いながら就労に繋げていく準備ができた。

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業	清掃	印刷	弁当販売	計
平成30年度	8,842,264	2,583,715	1,935,290	149,612	13,510,881
令和元年度	8,691,591	3,476,371	261,200		12,429,162
令和2年度	6,294,487	3,307,066			9,601,553
令和3年度	5,948,284	3,187,023			9,135,307
令和4年度	5,634,851	3,270,806			8,905,657
令和4年度(目標)	8,000,000	3,822,000			11,822,000

イ 平均工賃

単位：円

	年間配分金	月額平均
就労移行	1,089,686	22,702
就労継続B	6,777,683	20,435
計	7,867,369	

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	コバシ(株)、フジケース(株)、熊澤酒造(株)、(株)大村紙業など
清掃	(有)モザミトータルビューティー、茅ヶ崎市、つつじ学園など

エ 作業支援と工賃の概要

令和4年度の売上げは8,905,657円で、前年度比97.4%となり、金額にして229,650円減少した。除草作業は大幅に増加したが、見込んでいた大口の清掃作業の依頼がなかったことが主な要因である。

月額平均工賃は20,435円で、前年度比102.1%となり、金額にして427円増加した。作業収入は減少したが、B型在籍者数の減少により月額平均工賃は増加している。受注量は利用者の状況に適した量となっている。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
発達障がい基礎研修	茅ヶ崎市	1	1	
神奈川県指導講習会	神奈川県	2	2	
安全運転管理者講習会	神奈川県安全運転管理者会連合会	1	1	
苦情解決研修(実践)	かながわ福祉サービス運営適正化委員会	1	1	オンライン
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	神奈川県	2	2	オンライン
意思決定支援ガイドライン研修	かながわ障がいケアマネジメント従事者NW	1	1	
権利擁護と意思決定支援研修	かながわ障がいケアマネジメント従事者NW	2	2	オンライン
コロナBCP作成研修	神奈川県	1	1	オンライン
計		11	11	

内部研修	日数	延人数
虐待防止について (虐待防止検討会議)	1	8
発達障がい基礎研修報告会	1	8
利用者の障害特性を知る	1	8
中井やまゆり園の虐待及び不適切な支援について	1	8
強度行動障害について (身体拘束適正化検討委員会)	1	9
意思決定支援について	1	8
計	6	49

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数	備考
茅ヶ崎市自立支援協議会就労・生活支援部会	茅ヶ崎市	5	5	
企業と就労支援機関との出会いの場	ハローワーク	1	1	
チーム支援会議	ハローワーク	10	10	
茅ヶ崎市地域福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	2	2	
計		18	18	

内部会議	日数	延人数
個別支援計画作成会議	17	63
個別支援マニュアル作成会議	1	9
計	18	72

(3) 職員の派遣

研修会等の名称	依頼元	日数	延人数
福祉のしごとを知る懇談会	かながわ福祉人材センター	1	1

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
9月28日	27	7	0	34	赤羽根	地震発生を前提とした二次災害「火災」正面玄関前の民家から出火を想定。
3月31日	30	7	0	37	赤羽根	地震発生を前提とした二次災害「火災」正面玄関前の民家から出火を想定。

(2) 利用者アンケート

施設利用に満足頂いているかを確認するため、9月に利用者アンケートを実施（回収率77%：配布35/回収27）し、職員の対応や施設環境について80%以上の高い満足度を得られたが、工賃支給額やお弁当のメニューについての満足度が低かった。ご意見・ご要望等へ寄せられた内容については、可能な範囲で対応した。

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
5月				0	中止
9月				0	中止

(4) 年間行事

実施日	行事内容	備考
6月	事業団ふれあい合同スポーツ大会	中止
9月	保護者面談	実施
10月	利用者レクリエーション	中止
12月	納め会	中止
2月	保護者面談	実施

一堂に会しての保護者懇談会は中止となったが、コミュニケーション不足とならないよう保護者面談を年2回実施した。

(5) 車両の運行状況

(キャラバン)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	105	14	97	275	110	175	220	225	169	119	252	235	1,996	166.3
運行日数 (日)	9	2	12	19	10	13	20	18	18	10	22	16	169	14.1
平均走行 距離(km/日)	11.7	7.0	8.1	14.5	11.0	13.5	11.0	12.5	9.4	11.9	11.5	14.7		11.8

(アトラス)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	227	220	288	267	256	250	262	241	146	121	234	331	2,843	236.9
運行日数 (日)	16	15	21	17	17	19	17	17	17	14	16	21	207	17.3
平均走行 距離(km/日)	14.2	14.7	13.7	15.7	15.1	13.2	15.4	14.2	8.6	8.6	14.6	15.8		13.7

(セレナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	170	217	353	126	183	189	216	279	121	125			1,979	197.9
運行日数 (日)	13	18	20	12	14	17	18	18	14	8			152	15.2
平均走行 距離(km/日)	13.1	12.1	17.7	10.5	13.1	11.1	12.0	15.5	8.6	15.6				13.0

セレナについては、エンジンに故障が発生するなど、使用を継続するには高額な修繕が必要な状況にあり、使用年数(約13年)と今後の事業内容を考慮し、令和5年2月3日をもって廃車手続きを行った。

(総走行距離 39,502 km)

(エブリイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	160	163	205	158	136	210	177	223	163	155	188	274	2,212	184.3
運行日数 (日)	20	18	22	20	16	20	20	19	18	17	20	22	232	19.3
平均走行 距離(km/日)	8.0	9.1	9.3	7.9	8.5	10.5	8.9	11.7	9.1	9.1	9.4	12.5		9.5

(ダイナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	441	488	555	354	403	442	431	491	507	365	561	529	5,567	463.9
運行日数 (日)	17	17	20	19	17	18	18	20	18	15	19	22	220	18.3
平均走行 距離(km/日)	25.9	28.7	27.8	18.6	23.7	24.6	23.9	24.6	28.2	24.3	29.5	24.0		25.3

ふれあい活動ホームあかしあ事業報告（生活介護）

1 基本方針

利用者一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性に応じた支援計画を作成し、利用者が「昨日は楽しかった。今日も楽しい、明日も楽しい一日でありたい。」と思えるような支援を行う。

- (1) 利用者はかけがえのない人であるという認識のもと、利用者の自己実現のために利用者の思いや希望を丁寧に読み取り、笑顔で優しく支援を行う。
- (2) 利用者は社会の対等の構成者であるという認識のもと、利用者が地域との繋がりを深め、地域でも自分らしい生活を送れるように、利用者の地域行事への積極的参加の支援を行う。

2 令和4年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	体験利用を積極的に受け入れ、あかしあの魅力を発信し、在籍者20名とする。1日当たりの出席者数を17名とする。	概ね達成できた。 6名の体験利用を積極的に行った結果、2名が入所を希望していたが、うち1名は最終的に他事業所を希望したため、1名のみ入所となった。 1名が死去、1名が市外事業所への移行により、在籍16名となり、1日当たりの出席者数は15名に留まり前年度以上に伸ばすことはできなかった。
(2)	個別対応が必要な重度加算対象の3名に対し、「支援手順書」を作成し、それぞれの障害特性にあった支援の職員間での統一を図り、利用者が場面に合った行動ができるような環境を整備する。	達成できた。 重度加算対象者は最大時5名が在籍していたが、作成した「支援手順書」に基づき、職員間で支援の統一を図った。 環境を整備することで、行動が整い、落ち着いて活動に参加することができた。

3 利用者の状況

(1) 利用状況(代替支援を含む。)

		月													前年度				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数
あかしあ 生活介護	実在籍(契約)数	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	16	16						
	開所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	19	17	19	22	236	9	245	236	6	242
	延在籍数	360	342	396	360	324	360	360	360	325	289	304	352	4,132			4,608		
	延利用数	314	307	346	292	259	299	287	290	276	246	281	334	3,531	70	3,601	3,918	64	3,982
	分析	一日平均	15.7	16.2	15.7	14.6	14.4	15.0	14.4	14.5	14.5	14.5	14.8	15.2	15.0			16.6	
	出席率	87.2%	89.8%	87.4%	81.1%	79.9%	83.1%	79.7%	80.6%	84.9%	85.1%	92.4%	94.9%	85.5%			85.0%		

上記のほか、茅ヶ崎支援学校から9名、白浜養護学校から1名、横浜ひなたやま養護学校から1名が見学し、6名が実習（延べ日数31日）を行い、うち1名が令和5年度からの利用につながった。

年度途中に1名死去、1名が市外事業所へ移行となった。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	3	2	3	0	2	0	0	10
女	3	1	1	2	1	0	0	8
計	6	3	4	2	3	0	0	18

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	1	0	0	0	0	1	4	6	4	0	14

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	身1級 A1	身2級 A2	小計	
0	0	0	0	1	2	3	18

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
0	0	1	6	7	4	0	18

(5) 居住地域

市内	市外	計
17	1	18

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
14	4	0	18

*うち1名は自宅とグループホームを併用

(7) 生活支援の概要

障害の重度化が進み、強度行動障害の該当者が最大5名まで増えたが、落ち着いて活動に参加できるよう視覚支援や環境設定（パーテーションの設置、1回分の作業量のみ提供するなど）を行った。

保護者の高齢化など、本人以外の課題も多く、ケース会議を密に行い、関係機関で情報共有を行い、必要なサービスの提供につなげた。

4 事業内容

(1) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	自主製品	軽作業	計
平成30年度	1,199,003	2,990	1,201,993
令和元年度	1,109,906	17,691	1,127,597
令和2年度	385,690	57,320	443,010
令和3年度	541,420	43,180	584,600
令和4年度	673,965	76,703	750,668
令和4年度(目標)	427,000	80,000	507,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
360,100	1,667

ウ 作業支援と工賃の概要

令和4年度の売上げは750,668円で、前年度比128.4%となり、金額にして166,068円増加した。茅ヶ崎市作業所連絡会による販売会が再開したことや昨年度に引き続き委託販売を行うとともに、新たに市役所でのキッチンカー販売(月1回)、ドットコム販売(年3回)、Q's plaza(旧サザンポ)での販売を開始したことが主な要因であり、福祉関係に限らず、広く「あかしあ」の作品を知っていただくことができた。

機織り、木工のほかに、地域の草刈りや浜須賀地区社協のチラシ配りなど地域の方と触れ合いながら、地域貢献に繋がる活動を積極的に行うとともに、畑作業で収穫した野菜でクッキングを行うなど、利用者が生き生きと参加できる活動を提供した。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
ポジティブ行動の理論と実践	こども発達支援研究会	1	1	オンライン
知的障害のある方の生活支援	神奈川県総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション支援センター	1	1	
発達障害のある子どもを育てるときに大切な事	こども発達支援研究会	1	1	オンライン
サービス管理責任者更新研修	神奈川県	1	1	
メンタルヘルス講習会(管理職向け)	福利厚生センター	1	1	オンライン
てんかん研修	聖マリアンナ医科大学てんかんセンター	1	1	オンライン
施設系・生活支援系サービスにおける支援者の姿勢と対応	Lean on Me	1	1	オンライン
計		7	7	

内部研修	日数	延人数
虐待防止及び身体拘束について (虐待防止検討会議/身体拘束適正化検討委員会)	1	11
権利擁護について	1	11
計	2	22

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
ケース会議	平塚市	3	3
ケース会議	とれいん	5	5
ケース会議	トムトム相談室	1	1
カタログ作成会議	茅ヶ崎市社会福祉協議会	6	6
計		15	15

内部会議	日数	延人数
職員会議	10	107

(3) 職員の派遣

研修会等の名称	依頼元	日数
アロハマーケット 木工ワークショップ	うみかぜテラス	1

利用者也講師のサポートとして参加し、地域の方に木工の魅力を伝える機会となった。

(4) あかしあネットワーク会議

実施日	参加人数					備考
	地域	団体	行政	事業団	計	
7月						中止

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
5月25日	17	7	0	24	あかしあ玄関前	火災(消火・避難訓練)
6月17日	16	8	0	24	あかしあ施設内	不審者侵入
10月13日	16	8	1	25	あかしあ玄関前	火災(消火・避難訓練)
1月24日	15	8	0	23	あかしあ玄関前	地震(避難訓練)

(2) 利用者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、10月に利用者アンケートを実施(アンケート回収率83%:配布18件/回収15件)し、支援計画の内容について86.6%、職員の対応について平均93.3%の満足度を得られた。

(3) 保護者懇談会

実施日				備考
	保護者	職員	計	
4月	9	2	11	
8月				中止

(4) 年間行事

実施日	行事内容	備考
4月	花見	中止
5月	歩き遠足	中止
6月	事業団スポーツ大会	中止
6月6日～17日	茅作連ふれあい作品展	
7月28日	スイカ割り	
9月	あかしあまつり	中止
9/1～29	利用者個別面談、保護者面談	
9/12～15	茅ヶ崎・寒川障害者作品展示即売会	
10月	テラスモール散策・松浪地区福祉ふれあいまつり	中止
10月7日	赤い羽根共同募金街頭キャンペーン	
11月	引き渡し訓練	中止
11月11日	茅作連交流会	
11/28～12/9	茅作連ふれあい作品展	
12月	障害者週間街頭キャンペーン	作品のみ提供
12月10日	茅作連ふれあい交流会	
12月27日	お楽しみ会・大掃除	
1/30～2/3	イオンお楽しみランチ	
2/17～19	ランチ2作品展	
3/6～27	利用者個別面談・保護者面談	
3/6～10	茅ヶ崎・寒川障害者作品展即売会	
	公共交通機関遠足	中止
	小和田公民館まつり	中止

委託販売場所で利用者が機織りの実演を行ったり、少人数のグループで外食や作品展の見学に行くなど、社会との接点を多く持つことができた。

(5) 車両の運行状況

(セレナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	866	786	959	932	687	745	785	809	720	705	765	805	9,564	797.0
運行日数 (日)	21	19	22	21	17	21	21	22	19	18	20	22	243	20.3
平均走行 距離(km/日)	41.2	41.4	43.6	44.4	40.4	35.5	37.4	36.8	37.9	39.2	38.3	36.6		39.4

(サンバー)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	515	390	479	545	424	457	489	519	507	585	334	633	5,877	489.8
運行日数 (日)	15	13	15	14	13	16	17	16	17	16	11	19	182	15.2
平均走行 距離(km/日)	34.3	30.0	31.9	38.9	32.6	28.6	28.8	32.4	29.8	36.6	30.4	33.3		32.3

(6) 教育実習生の受け入れ

11月から12月にかけて1名(延べ日数11日)の教育実習生を受け入れた。

ふれあい活動ホーム第2あかしあ事業報告（就労継続B型）

1 基本方針

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援する。利用者の個性や障害特性を尊重した、心のかよいうサービスを基本とした施設運営に努めていく。

2 令和4年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	作業以外の面での支援を継続しながら、工賃水準を維持する。ふれあい活動ホーム赤羽根との連携による効率的な作業確保と、必要に応じての新規作業開拓を行うことで、月額平均工賃を10,000円以上とする。	達成できた。 月額平均工賃は11,147円であった。在籍者数の増加により年間総支給人数が前年度比6%増加したなかで、前年度の11,268円とほぼ同じ水準とすることができた。 売上は前年度比101.1%であり、前年度と同水準であった。
(2)	在籍者数を増やすことにより、1日当たり出席者数を24名以上とする。	達成できた。 1日当たり出席者数は22.9名であったが、前年度の21.3名を上回った。 令和4年度中に3名が入所し、在籍者数は28名となった。相談支援事業所等の関係機関との連携をこれまで以上に重視し、利用につながる可能性のある方々への事前支援を確実に行ったことで新規利用者獲得ができたものと考えている。

3 利用者の状況

(1) 利用状況(代替支援を含む。)

	月													前年度					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数
第2 継続 あかし あ B 型	実在籍(契約)数	26	27	27	27	27	27	27	27	27	27	28	28	236	5	241	235	4	239
	開所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	19	17	19	22	6,385			6,165		
	延在籍数	519	506	594	540	486	540	540	540	513	459	532	616	5,396	62	5,458	4,998	58	5,056
	延利用数	444	435	515	448	405	444	461	456	440	403	451	494	5,396	62	5,458	4,998	58	5,056
	分析	一日平均	22.2	22.9	23.4	22.4	22.5	22.2	23.1	22.8	23.2	23.7	23.7	22.5	22.9			21.3	
	出席率	85.5%	86.0%	86.7%	83.0%	83.3%	82.2%	85.4%	84.4%	85.8%	87.8%	84.8%	80.2%	84.5%			81.1%		

上記のほか、茅ヶ崎支援学校の在校生、相談支援事業所からの紹介等で、28名が見学、10名（延べ日数75日）が実習を行い、3名が令和4年度中に利用につながり、1名が令和5年度からの利用につながった。退所者はいなかった。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	5	2	3	8	2	0	0	20
女	0	0	4	2	1	1	0	8
計	5	2	7	10	3	1	0	28

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
1	1	0	0	0	0	2	0	5	11	4	20

精神障害				重複					合計
1級	2級	3級	小計	身1級 B2	精2級 A2	精3級 B1	身3級 精2級	小計	
0	2	0	2	1	1	1	1	4	28

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
1	3	9	3	1	0	11	28

(5) 居住地域

市内	市外	計
27	1	28

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
17	8	3	28

(7) 生活支援の概要

精神面の不安定さにより欠席につながりやすい利用者に対して、相談支援事業所及びグループホームとの連携を強化し、生活の全体像を把握することで効果的な支援を実施することができ、出席日数を増やすことができた。

保護者の高齢化により課題が生じたケースでは、茅ヶ崎市及び相談支援事業所との連携のもと、金銭管理の支援や、自宅訪問による生活面の支援を行ったほか、ヘルパーによる支援につなげることができ、本人の生活の維持を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症対策として、職員立ち合いによる朝の検温及び手指消毒、更衣室の入室人数制限、食事前後の手指及びテーブル消毒の徹底等の対策のほか、生活全般での手洗い・消毒・外出に関する助言を行い、感染リスクの低減を図った。濃厚接触者に指定され自宅待機となった利用者には、毎日電話連絡し心身状態の確認及び必要な助言を行い、安心して過ごせるよう配慮した。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

なし

イ 職場実習

区分	実習者数	就労者数	企業名	業務内容
就労継続B型	1	-	木村光太郎司法書士事務所	事務補助
計	1	-		

ウ 施設外就労

なし

エ 就労支援の概要

就労希望者に対し、自立支援協議会の取り組みである「企業体験実習」への参加を促し、1名が実習を行った。希望の職種を体験し、今後の就労へ向けた支援の参考とすることができた。施設外支援では、カフェドットコムを3名が訓練生として利用し、工賃向上に寄与したほか、身だしなみへの意識が高まるなどの変化があった。

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業	清掃	計
平成30年度	2,954,611	236,317	3,190,928
令和元年度	3,483,085	235,333	3,718,418
令和2年度	3,075,483	235,331	3,310,814
令和3年度	3,308,299	241,822	3,550,121
令和4年度	3,331,953	257,085	3,589,038
令和4年度(目標)	4,000,000	262,000	4,262,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
3,431,067	11,147

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	コンポー(株)、住友電工オプティオンティア(株)、(株)ワンワールド、熊澤酒造(株)、高野商店、やまと紙器(株)、湘南きのこ、湘南スプリング(株)、ふれあい活動ホーム赤羽根
清掃	ふれあい活動ホーム第2あかしあ

エ 作業支援と工賃の概要

重度の身体障害の方の入所にあたり、作業に必要な治具を製作し、座席配置を配慮することで、できるだけ自立的に作業を進められるようにした。

生きがい会館日常清掃では、利用者の分かりやすさと支援の統一を図るため、各部屋に手順書を掲示するようにした。

令和4年度の売上は3,589,038円で、前年度比101.1%となり、金額にして38,917円増加した。売上はわずかに増加したものの、平均工賃額は121円減少した。これは、在籍者数の増加により年間総支給人数が前年度比6%増加したことが理由となっている。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
障害支援区分認定調査員研修	神奈川県	1	1	
神奈川県指導講習会	神奈川県	1	1	
発達障がい基礎研修	茅ヶ崎市	1	1	
障害者虐待の防止と対応の実際	茅ヶ崎市	1	1	オンデマンド配信
神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修	神奈川県	2	2	オンデマンド配信
計		6	6	

内部研修	日数	延人数
発達障がいについて	1	7
障害者虐待の防止と対応について (虐待防止検討会議)	1	7
身体拘束について (身体拘束適正化検討委員会)	1	7
虐待防止と権利擁護について	1	6
計	4	27

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市障害者保健福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	1	1
ケース会議	生活相談室とれいん	1	1
計		2	2

内部会議	日数	延人数
職員会議	12	83
個別支援計画検討会議	3	12
計	15	95

(3) 職員の派遣

研修会等の名称	依頼元	日数
施設研修	茅ヶ崎市茅ヶ崎地区民生委員児童委員協議会	1

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
9月26日	19	6	0	25	給湯室	地震後火災発生 (通報・避難・消火訓練)
3月29日	18	7	0	25	給湯室	地震後火災発生 (通報・避難・消火訓練)

(2) 利用者アンケート

施設利用に満足いただいているかを確認するため、10月に利用者アンケートを実施（回収率 96.2%：配布 26/回収 25）した。感染症対策、作業支援、職員の対応、支援計画については 80%以上の満足度を得られたが、お弁当のメニュー、サービスへの総合満足度については 70%以下の満足度であった。ご意見・ご要望等へ寄せられた内容のうち、事業所の設備・環境に関わることは対応した。コロナの影響により事業所の様子が分かりづらくなったというご意見に対しては、令和 5 年度に具体的な対応を予定している。

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
5月				0	中止
10月				0	中止

(4) 年間行事

実施日	行事内容	備考
6月	事業団ふれあい合同スポーツ大会	中止
6月	十間坂地区防災訓練	中止
7月	保護者面談	実施
8月	十間坂納涼祭	中止
10月	茅ヶ崎地区防災訓練	中止
1月13日	金 お楽しみ新年会	飲食なしで実施
1月	日帰りレクリエーション	中止
2月	保護者面談	実施

新型コロナウイルスの影響により保護者懇談会を含む多くの行事が中止となったが、保護者との連携を保つため、保護者面談は予定どおり実施した。

(5) 車両の運行状況

(エブリイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	153	124	77	108	80	89	169	129	80	160	59	111	1,339	111.6
運行日数 (日)	13	11	9	10	8	7	14	14	7	12	8	12	125	10.4
平均走行 距離(km/日)	11.8	11.3	8.6	10.8	10.0	12.7	12.1	9.2	11.4	13.3	7.4	9.3		10.7

あっとほーむ小和田事業報告（共同生活援助）

1 基本方針

利用者が地域において共同して、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護並びに相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供する。

2 令和4年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	体験利用を3名以上受け入れ、定員を補充する。	概ね達成できた。 体験利用を4名受け入れ、小和田と高田に1名ずつ入居となった。入居を前提とした体験利用については、1泊2日、2泊3日、1週間など、実際に入居したイメージを作ることができるよう支援を行った。
(2)	様々な障害特性や支援方法に関する内部研修を年4回行う。	達成できた。 虐待防止、発達障害、権利擁護、てんかんをテーマに内部研修を行った。新しい職員も増え、改めて「利用者ファースト」の心構えを確認し、一人で抱え込まず、世話人会議などを通じ、常にチームで考えていくことを全員で確認した。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
あ と ほ ー む	G	実在籍(契約)数	17	17	17	17	17	17	17	18	18	19	19	19		
		開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365
	H	延利用数	469	473	466	467	462	459	475	489	501	498	498	546	5,803	5,770
		分析 一日平均	15.6	15.3	15.5	15.1	14.9	15.3	15.3	16.3	16.2	16.1	17.8	17.6	15.9	15.8

4名の体験利用（延べ29日）があり、そのうち2名が小和田と高田へ入居となった。

年度途中で障害支援区分が1から2へ2名、2から4へ1名変更となった。

発達障害の利用者が増え、共同生活のしづらさ、他者の介入を拒否する様子が見られ、お互いの障害の理解を進める必要がある。

(2) 年齢・性別

18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
3	0	4	0	1	0	0	8
6	1	2	1	1	0	0	11
9	1	6	1	2	0	0	19

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
1	0	0	0	0	0	1	0	1	7	7	15

精神障害				重複		合計
1級	2級	3級	小計	身2級 A1	小計	
0	1	1	2	1	1	19

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
2	8	2	6	1	0	0	19

(5) 日中活動の場

就労	法人外 事業所	法人内 事業所	計
6	5	8	19

(6) 生活支援の概要

部屋の片づけが苦手な方が多く、定期的に清掃チェックを行った。また、ゴミ袋有料化に伴い、改めてごみの分別の仕方など具体的に写真を用いて勉強会を行った。

年度途中で体調を崩して一般企業を退職した2名については、相談支援事業所と連携し、実習を通して、本人の特性に合った事業所へ移行することができた。

4 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
発達障がい基礎研修	茅ヶ崎市	1	3	
意思決定支援ガイドライン研修	神奈川県	1	1	
さまざまな関係の中で私を生きる	(福) 翔の会	1	1	
てんかん治療の最前線	日本てんかん協会	1	1	
はじめよう茅ヶ崎の障がい福祉	茅ヶ崎市	1	1	
計		5	7	

内部研修	日数	延人数
虐待防止及び身体拘束について (虐待防止検討会議/身体拘束適正化検討委員会)	3	11
発達障がいについて	3	10
権利擁護について	3	10
てんかんについて	3	10
計	12	41

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議	茅ヶ崎市	1	1
茅ヶ崎市自立支援協議会 地域支援体制強化部会	茅ヶ崎市	2	2
茅ヶ崎市地域福祉推進委員会	茅ヶ崎市	2	2
茅ヶ崎寒川ホーム連絡会	茅ヶ崎寒川ホーム連絡会	2	2
ケース会議	茅ヶ崎市社会福祉協議会	1	1
ケース会議	白十字林間学校	1	1
ケース会議	生活相談室とれいん	1	1
計		10	10

内部会議	日数	延人数
世話人会議 (小和田)	9	50
世話人会議 (松が丘)	10	66
世話人会議 (高田)	14	53
計	33	169

5 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
10月6日	4	1	0	5	あっとほーむ高田	災害時の非常食体験
10月12日	4	1	0	5	あっとほーむ小和田	災害時の非常食体験
10月19日	5	1	0	6	あっとほーむ松が丘	災害時の非常食体験
3月9日	3	1	0	4	小和田小学校	大地震 (小和田)
3月16日	5	1	0	6	浜須賀中学校	大地震 (松が丘)
3月25日	2	1	0	3	円蔵中学校	大地震 (高田)

(2) 年間行事

実施日		行事内容	備考
12月21日	水	クリスマス会（高田）	
12月23日	金	クリスマス会（松が丘）	
12月24日	土	クリスマス会（小和田）	
2月18日	土	いちご狩り（小和田・松が丘）	
3月4日	土	いちご狩り（高田）	

新しい入居者と親睦を図るため、いちご狩りを実施した。ほーむでは見られないような表情も見られ、その後の利用者同志の関係性も良好となった。

相談支援センターつみき事業報告

(茅ヶ崎市相談支援、指定障害児相談支援、指定特定相談支援、障害支援区分認定調査)

1 基本方針

障害のある児・者及び保護者等の意思を尊重し、基本的人権を享有する個人として、その尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する。また、障害のある児・者の意思及び人格を尊重し、抱えている課題の解決や適切なサービス利用に向け、関係各機関や福祉サービス提供事業所等と連携しながら支援を行っていく。

2 令和4年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	個別のケース会議とは別に、学校、福祉事業所等、つみきが参加する連絡会を市内2校以上でそれぞれ年2回以上の情報共有等の機会を持ち、スムーズな連携につなげる。	概ね達成できた。 市内2校でそれぞれ年1回の情報共有会を実施した。2回目は諸事情により実施できなかったが、1回目の実施を通して学校と地域の支援者との間で、顔が見える関係性を築くことができた。
(2)	法人内の認定調査員有資格者の1名の増員を確保するとともに、実働できる法人内調査員（つみき以外）を2名以上増員できるよう、つみきとしてフォローする。	達成できた。 新たに2名の職員が認定調査員の資格を取得するとともに、つみき以外に所属する職員2名が調査員として実働することができ、職員の資質向上にもつながった。

3 事業内容

(1) 相談支援の実施状況内訳

表1参照

(2) 主な相談内容と特徴

- ・放課後等デイサービスなど、児童系のサービスの利用調整に関する相談が大多数を占めている。
- ・様々な事情から家族による養育に難しさを抱えている障がい児について、母子保健担当の保健師や家庭児童相談室、市障がい福祉課より、福祉サービスの利用等について相談を受けることが複数あった。
- ・家族支援も必要なケースについては、関係機関が集まりケース会議や電話等による連携を数多く行った。
- ・学校への行き渋りや不登校の児童で、発達特性がある児について保護者から継続相談を受けてきた。それらの相談に対しては面談や電話相談等を実施し、本人・家族の孤立を防ぐための支援を行った。
- ・児童発達支援、放課後等デイサービスともに新しい事業所が市内や隣接市町にでき、それら事業所の利用についての相談も多く入った。
- ・読み書きの苦手さに関する相談が複数あった。読み書き障害の支援に詳しい民間の支援機関と連携しながら支援を行った。

・児童、成人ともに短期入所利用についての相談が多く入った。利用先について、近年開設が続いた日中支援型グループホームの短期入所枠の利用を検討することも多く、見学の同行を複数回行った。

(3) 障害児支援利用計画及びサービス等利用計画の作成件数

区分	障害児(18歳未満)			障害者(18歳以上)		
	利用計画	継続 利用計画	モニタリング 加算	利用計画	継続 利用計画	モニタリング 加算
4年度	23	25	15	1	11	11
3年度	19	20	14	5	6	7

(4) 認定調査の件数

4年度	39
3年度	70

4 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
発達障がい基礎研修	茅ヶ崎市障がい福祉課	2	3	
発達障がい中級研修	茅ヶ崎市障がい福祉課	1	1	
発達障がい上級研修	茅ヶ崎市障がい福祉課	2	4	
相談支援従事者プレ研修	神奈川県	2	2	
相談支援従事者初任者研修	神奈川県	6	6	内2日オンライン
相談支援従事者現任研修	神奈川県	4	4	内1日オンライン
相談支援従事者 専門コース別研修 「障がい児支援」	神奈川県	1	1	
認定調査員研修	神奈川県	1	1	
意思決定支援研修	神奈川県	1	1	
意思決定支援研修	茅ヶ崎市	1	1	
精神保健福祉普及啓発講演会 (ネット・ゲーム依存)	茅ヶ崎市保健予防課	1	2	オンライン
強度行動障害対策事業公開講座 (適切な支援と教育・福祉の連携)	三浦しらとり園	1	2	オンライン
療育研修会	茅ヶ崎市こどもセンター	1	1	
市内保育士向け療育研修	リタリコ	1	1	
障がい者の性と支援	株式会社Lean on Me	1	1	オンライン
計		26	31	

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数	備考
茅ヶ崎市自立支援協議会 代表者会議	茅ヶ崎市	2	2	内1日オンライン
茅ヶ崎市自立支援協議会 運営会議	茅ヶ崎市	5	5	
茅ヶ崎市自立支援協議会 未就学児相談のしくみ部会	相談支援センターつみき	3	6	
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	4	5	
湘南東部障害保健福祉圏域 自立支援協議会	湘南東部圏域 地域生活ナビゲーションセンター	2	2	
湘南東部圏域相談支援ネットワーク会議	湘南東部圏域 地域生活ナビゲーションセンター	2	2	
基幹相談支援センター設置検討 プロジェクト会議	茅ヶ崎市	10	10	
神奈川県内公立障害児者通園施設・通園 事業連絡協議会	神奈川県内公立障害児者通園施設・通園事 業連絡協議会	1	1	
	計	29	33	

5 その他

(1) 車両の運行状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	125	74	190	242	169	210	62	158	117	91	142	226	1,806	150.5
運行日数 (日)	8	7	12	12	14	12	5	13	7	5	8	10	113	9.4
平均走行 距離(km/日)	15.6	10.6	15.8	20.2	12.1	17.5	12.4	12.0	16.7	18.2	17.8	22.6		16.0

相談支援の実施状況（内訳）

1 利用者の状況

相談形態	電話	来所	訪問	その他	計		
	2,448	69	40	178	2,735		
相談者	本人	家族・親戚	その他機関等	計			
	135	685	1,915	2,735			
地域	茅ヶ崎	その他地域	計				
	333	5	338				
障害種別	身体	知的	精神	発達	高次脳	その他	計
	9	125	10	167	0	27	338

- ・相談件数は前年度の2,453件を282件上回り、2,735件となった。
- ・「つみき」がこれまで児童の支援を多く行ってきたこともあり、今年度の相談の対象者も児童が大半を占めている。
- ・障害種別の発達障害の中には、はっきりとした診断のない児も含まれている。
- ・近年、児童系の関係機関と顔の見える関係を作ってきたこともあり、関係機関からの相談も年々増えている。特に未就学児の相談が増えた。

2 利用実績

事業項目		年間相談計（件）
(1)市町村相談支援機能強化事業		477
(2)障害者相談支援事業		2,269
（内 訳）	（ア）福祉サービスの利用援助（情報提供、相談等）	1,519
	（イ）社会資源を活用するための支援	493
	（ウ）社会生活力を高めるための支援	50
	（エ）ピアカウンセリング	0
	（オ）権利の擁護のために必要な援助	2
	（カ）専門機関の紹介	3
	（キ）自立支援協議会の部会の運営	11
	（ク）上記以外の相談	191

*（キ）の件数は、上表「利用者の状況」の件数に含まれていません。

ぐっじょぶ矢畑事業報告（就労継続B型）

1 基本方針

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

生産活動を通して、働くことの楽しさや大切さ、それぞれが協力して製品を完成させる達成感を感じていただき、生活意欲の向上へ繋がるような支援を行います。

2 令和4年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	月額平均工賃を3,000円以上とする。	達成できた 月額平均工賃は3,052円で前年度の3,191円を下回ったが、ほぼ同水準となった。 主な取引先の高野商店や赤羽根以外に、雑貨店から材料加工の受注を開始した。
(2)	在籍数を定員20名に近づけるほか、出席率を上げる工夫を講じ1日当たりの利用者数を17人以上とする。	概ね達成できた 在籍者が18名、1日当たりの利用者数は13.6人となった。 相談支援事業所との連携を密にし、年度途中で1名が利用につながった。精神的な理由で通所が難しい方へ、在宅でも作業ができるよう配慮した。

3 利用者の状況

(1) 利用状況（代替支援を含む。）

															前年度						
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数	
ぐっじょぶ矢畑	継続B型	実在籍(契約)数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	18	18						
		開所日数	20	19	22	20	18	20	20	20	20	19	17	19	22	236	9	245	235	10	245
		延在籍数	340	323	374	340	306	340	340	340	340	323	318	342	396	4,082			4,015		
	分析	延利用数	277	264	313	276	246	279	271	260	257	221	238	300	3,202	78	3,280	3,316	92	3,408	
		一日平均	13.9	13.9	14.2	13.8	13.7	14.0	13.6	13.0	13.5	13.0	12.5	13.6	13.6			14.1			
	出席率	81.5%	81.7%	83.7%	81.2%	80.4%	82.1%	79.7%	76.5%	79.6%	69.5%	69.6%	75.8%	78.4%			82.6%				

上記のほか、6月、10月に茅ヶ崎支援学校から1名ずつ、11月に第2あかしあからの紹介で1名、12月に相談支援事業所からの紹介で1名の実習（延べ日数42日）を受け入れた。その内1名が1月から利用につながり、1名が令和5年度からの利用につながった。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	10	2	2	1	0	0	0	15
女	0	1	1	1	0	0	0	3
計	10	3	3	2	0	0	0	18

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	1	1	0	1	0	3	0	8	3	3	14

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	身1級 A1	精2級 B2	小計	
0	1	0	1	0	0	0	18

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
0	1	5	5	2	0	5	18

(5) 居住地域

市内	市外	計
18	0	18

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
13	5	0	18

(7) 生活支援の概要

利用者支援マニュアル、終礼、内部研修を活用し、障害特性の理解、共有によりそれぞれの利用者が落ち着いて過ごせるよう包括的な支援を行った。また、個別面談、保護者面談で生活面の理解に努め障害特性だけでは解らないそれぞれの個性を把握し情報共有した。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

なし

イ 職場実習

なし

ウ 施設外就労

なし

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業
平成30年度	1,121,914
令和元年度	1,136,142
令和2年度	768,103
令和3年度	681,523
令和4年度	612,185
令和4年度(目標)	830,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
476,186	3,052

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	高野商店、ふれあい活動ホーム赤羽根、寒川紙業

エ 作業支援と工賃の概要

令和4年度の売上げは612,185円で、前年度比89.8%となり、金額にして69,338円減少した。雑誌付録作業量の減少が主な要因である。月額平均工賃は3,052円で、前年度比95.6%となり、金額にして139円減少した。

高野商店からの受注を基本としながら、ふれあい活動ホーム赤羽根からの受注で補い、利用者の特性、個性を考え、作業を提供した。精神的な理由で通所が難しい方へ在宅で作業ができるように配慮した。また、湘南東部圏域発達障害者地域支援マネージャーと連携をとり、障害特性の更なる理解に努めた。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催または実施事業者	日数	延人数	備考
発達障がい基礎研修	茅ヶ崎市	1	1	
権利擁護と意思決定支援研修	かながわ障がいケアマネジメント従事者NW	2	2	オンライン
計		3	3	

内部研修	日数	延人数
発達障がい基礎研修報告会	1	5
ダウン症について	1	5
発達障害の二次障害について	1	5
虐待防止及び身体拘束について (虐待防止検討会議/身体拘束適正化検討委員会)	1	5
計	4	20

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
ケア会議	元町の家	4	4
ケア会議	ぐっじょぶ矢畑	4	4
計		8	8

内部会議	日数	延人数
個別支援計画検討会議	2	10
利用者支援マニュアル作成会議	1	5
支援会議（職員会議）	3	15
計	6	30

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	出火想定場所	想定
9月30日	9	6	0	15	1階作業室	地震（避難訓練）
3月29日	9	5	0	14	2階事務局	地震、火災（消火・避難訓練）

(2) 利用者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、10月に利用者アンケートを実施（アンケート回収率100%：配布17件/回収17件）し、支援計画の内容について平均88.2%、職員の対応について平均88.2%の満足度を得られた。

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
9月				0	中止
3月				0	中止

*なお、希望制による個別面談を実施した。

(4) 年間行事

実施日	行事内容		備考
6月		事業団スポーツ大会	中止
10月28日	金	利用者レクリエーション	新江ノ島水族館
12月27日	火	年末お楽しみ会	

新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、10月に利用者レクリエーションとして新江ノ島水族館へ行った。利用者の障害特性、相性を考えながら配車とグループ分けを行うとともに、個々の集中力を考え帰りの時間をずらす等個別に対応を行った。とても久しぶりの行事ということもあり、楽しみながらストレス発散に繋がった。また、12月の最終日に年末お楽しみ会を行い、ジェスチャーゲームや輪投げ、茶話会を行い締めくくりとした。

(5) 車両の運行状況

(キャリアイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	134	141	222	200	102	106	179	210	103	142	54	147	1,740	145.0
運行日数 (日)	11	11	16	18	9	11	13	17	7	12	8	11	144	12.0
平均走行 距離(km/日)	12.2	12.8	13.9	11.1	11.3	9.6	13.8	12.4	14.7	11.8	6.8	13.4		12.1



